

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	266	学校名	仙台市立錦ヶ丘中学校	校長名	久世 達也
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ 「自ら取り組むエコ活動」



2 取組の紹介

(1) ペーパーレス化の推進

生徒会執行部は行事の準備や打合せを行う際、紙に印刷した資料を極力使用しないようにしています。資料の共有や修正は、仙台市から一人一台ずつ配付されている情報端末を使用してクラウド上で行っています。

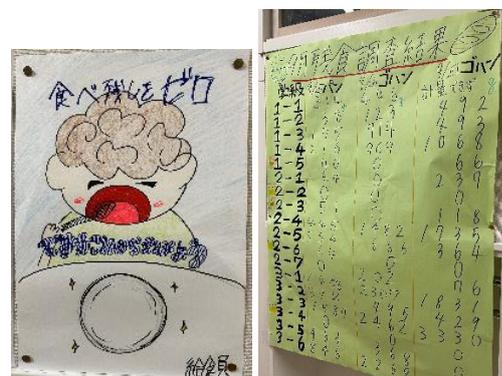


生徒会で行事や会議を実施する際は事前準備から当日の運営まで、入念に準備をします。その過程で実施計画は修正が重ねられますが、これまではそれらを紙に印刷していました。紙の資料は、生徒会執行部員のみだけでなく、担当する教員の分、全校生徒に周知する際はその分も必要となり、資源の有効活用や廃棄物の削減という視点で課題がありました。ここ数年は、情報端末を活用することでこれらの大きな削減につながっています。さらに、生徒会執行部以外の専門委員会でも、少しずつ情報端末を活用したペーパーレス化が進んでいます。

また、教室でもプリント類のサイズ別・色別回収を進めています。裏面が使える紙類は再利用し、紙の無駄遣いを少しでも減らして、資源を大切にすることを養っています。

(2) 給食の残食ゼロを目指す呼びかけとポスター作り

残食を極力少なくするよう意識する強化期間を設けています。少しでも残食を減らし、食材を生産している方や給食センターの方への感謝の気持ちを忘れずに食べてほしい、世界の食糧事情に目を向けてほしいという思いで、給食委員会が中心となり、放送やポスターなどで残食ゼロを呼びかけています。期間中の下膳の際には、目に見えて残食が減っています。年間を通し残食を減らすことが課題です。



3 取組の成果 (生徒の変容)

3年生になると、社会科や理科、英語科などで地球環境や持続可能な社会について学ぶ機会がありますが、生徒の作文やプレゼンテーション資料から、地球環境の置かれた状況に目を向け、一人一人にできることに少しでも取り組もうという意欲が感じられています。

ペーパーレス化、食品ロスの削減など、できる活動に積極的に取り組み、継続していくことで大きな成果、持続可能な社会の実現へ貢献することができると考えます。生徒たちが今後も持続可能な社会の実現に向けて考えたり、行動したりできるよう引き続き支援していきたいと思ひます。